

科目名 Course Name	生活支援技術Ⅲ Independent Living Skills III			ナンバリング No.	J1-009		
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>生活支援技術Ⅲでは、生命と健康の維持のための、食事および排泄の意義と目的について学習し、自立に向けた支援を行うための基本技術を習得する。</p> <p>①食事と排泄の意義を、列挙できるようにする。 ②基本的な食事、排泄の支援方法と留意点を説明できるようにする。 ③演習での利用者役やおむつ体験を通し、利用者に合わせて支援方法を選択できるようにする。 ④臥床している人のプライバシーに配慮し、安全・安楽・的確なおむつ交換ができるようにする。</p>						
授業の方法	講義・演習を通して、食事・排泄の意義と目的、安全で的確な支援方法、利用者のアセスメント、利用者の状態・状況に応じた支援の留意点などを講義・演習・ディスカッションを通して学習する。学生は利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会とする。						
学習成果	L01	演習を通して、自分自身の生活支援技術の不足部分を明確にし、技術向上のための練習に真摯に取り組むことができる。					
	L02	食事と排泄の意義と目的を明確にし、食事および排泄の支援に関する基礎知識を習得し、安全で的確な食事および排泄支援を、基本をふまえて実施することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	実技演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。小テスト(実技試験)の結果は、評価点やコメントを記入した評価表を返却する。返却時は解説も行う。						
教科書/参考図書	①最新・介護福祉士養成講座 第7巻「生活支援技術Ⅱ」第8巻「生活支援技術Ⅲ」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	●演習時は身だしなみを整えること。●自己練習をし、技術の向上に努めること。なお、授業時間以外の介護実習室使用に関しては別途指示する。●教材以外のものは机上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④演習時は身だしなみを整え、積極的に取り組んでいる。	10			
レポート/作品	S 評価のレポートは、演習を振り返り、学びや気づき等、自分の考えが具体的に記述できていること。		40		
発表					
小テスト	第 14 回目に臥位でのおむつ交換の実技試験を行う。S 評価は、プライバシーに配慮し、安全・安楽・的確なおむつ交換ができていること。		20		
試験	食事と排泄に関する意義や基礎知識(支援方法・留意点)を出題する。		20		
その他	「おむつ体験レポート」を課す。S 評価は、課題を十分に理解し、適切かつ正確な資料で分かりやすく工夫した内容構成であること。	10			
合計		20	80		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法の説明) 自立に向けた食事の介護 食事の意義と目的 介護者の役割
	事前・事後学習	食事に関する、前・中・後の観察項目を調べ、ノートに挙げてくる。
2	授業内容	食事に関する利用者のアセスメント 利用者の状態・状況に応じた食事支援の留意点
	事前・事後学習	演習に向けて、食事の支援をする際の留意点を調べ、ノートに記載する。
3	授業内容	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義と目的、介護者の役割
	事前・事後学習	排泄に関する、観察項目を調べ、ノートに挙げてくる。
4	授業内容	排泄に関する利用者のアセスメント 安全で的確な排泄の支援 利用者の状態・状況に応じた排泄支援の留意点
	事前・事後学習	演習に向けて、排泄の支援をする際の留意点を調べ、ノートに記載する。
5	授業内容	安全で的確な食事の支援【演習】 <課題① 振り返り用紙 提出:第6回>
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題①の記載をする。
6	授業内容	利用者の状態・状況に応じた食事の支援(視覚障害、咀嚼・嚥下機能障害、運動機能障害)【演習】 <課題② 振り返り用紙 提出:第7回>
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題②の記載をする。
7	授業内容	食事支援のまとめと補足(グループディスカッション ①②の演習振り返り)
	事前・事後学習	グループディスカッションを通して確認した、食事の支援での留意点や学びを整理して記載する。
8	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援① おむつ交換【演習】 <課題③ 振り返り用紙 提出:第9回> <課題④ おむつ体験レポート 提出:第12回>
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題③の記載をする。おむつ体験レポートの作成。
9	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援② おむつ交換【演習】
	事前・事後学習	おむつ体験レポートの作成。
10	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援③ ベッド上排泄【演習】 <課題⑤ 振り返り用紙 提出:第11回>
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル 課題⑤の記載をする。
11	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援④ ポータブルトイレ【演習】
	事前・事後学習	ポータブルトイレの介助について、学んだことをノートに記載する。
12	授業内容	排泄の演習、おむつ体験振り返り(グループディスカッション)
	事前・事後学習	グループディスカッションを通して確認した、排泄の支援での留意点や学びを整理して記載する。
13	授業内容	排泄支援に関する生活支援技術のまとめ【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルの該当ページを読み、手順(具体的方法)や根拠、留意点を確認する。練習用チェックリストを使い、繰り返し練習する。
14	授業内容	排泄支援に関する生活支援技術の確認・振り返り(おむつ交換) 小テスト【実技試験】
	事前・事後学習	実技の自己評価表をチェックする。これまでの練習や実技試験を振り返り、不十分だった点やできなかった点を復習(練習)する。
15	授業内容	授業のまとめ グループディスカッションの発表 排泄支援のまとめと補足
	事前・事後学習	実習までにおむつ交換が的確にできるよう、チェックリストを確認しながら自己練習を繰り返す。